




学校名 中種子町立岩岡小学校

項 目	活動内容等
1 活動内容等	<p>岩岡小学校は中種子町の西側にある長浜海岸の南端付近に位置し，立地条件を生かした環境教育の一環として，ウミガメの採卵・人工孵化・放流活動を実施している。また，カヌー体験や長浜海岸での親子駅伝大会など地域の自然を生かした教育活動にも取り組んでいる。それらの活動を行う長浜海岸の環境保全活動は学校や地域が取り組む特色ある教育活動にとって重要な活動である。</p>
2 活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月	<p>本校は「ウミガメと花と一輪車の学校」がキャッチフレーズである。児童にとってウミガメは身近な存在であり，通学路からウミガメの上陸跡を見ることができる。これまでもウミガメを題材として理科や生活科，総合的な学習の時間で生物保護の観点から環境教育を進めてきた。そして，令和3年度からは，環境保全の観点による環境教育の構想を練り，令和4年度から地域や外部機関との連携を図ることで新たな環境保全活動を開始している。</p> <p>それが，「SDGs デー」の設定である。「SDGs デー」とは，本校の環境教育の重要な活動場所となる長浜海岸の清掃活動である。ウミガメが上陸・産卵・孵化するふるさとの海岸を守る活動を行うことは，今後，環境保全に自ら取り組む児童を育成する上で，大きな意義があると考え，全校による活動を開始した。</p> <div data-bbox="619 1370 932 1581" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ウミガメは絶滅危惧種ⅠB（環境省版レッドリスト2020） ・SDGsデーは，令和4年4月から開始し，年間11回の予定 <p>アカウミガメ上陸跡（撮影日：令和4年5月撮影場所：長浜海岸）</p>
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	<p>SDGsデー（海岸清掃）</p> <div data-bbox="724 1680 1193 1995" data-label="Image"> </div>

項 目	活動内容等
③ 月間又は年間 活動回数	毎月1回, 年間11回実施
④ 活動のエリア	長浜海岸の屋久津地区
⑤ 活動1回当たりの 平均参加者数	全児童15名 全職員11名(引率, 学校でのゴミ仕分け・片付けも含む)
⑥ 活動1回当たりの 平均時間	1時間(海岸までの往復時間を含む。)
⑦ 収集ごみの処理	 <ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチックごみを中心に海岸で収集し, 学校に持ち帰る。砂を落として回収用のゴミ袋に入れる ・ ゴミ袋は町の提供によるものである。収集したゴミは町の協力により回収していただいている。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童がゴミを拾いながら, 海岸の現状を知り, 今後の学習に活かしていることが特徴である。  <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地に児童が描いた絵や標語を掲示した看板を立て, 地域へ発信をしている。令和4年度は10カ所設置し, 今年度は, 7月現在で5カ所設置している。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化 への貢献 ② 地域住民との協力 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸のゴミは膨大で児童が数回収集する程度では, まだ改善することはできていないが, 自分たちができることを考えながら, 地道に続けていくことで改善に繋げたい。 ・ 令和4年10月には, 地域学校協働活動の取組の一つとして, 地域の方にも参加していただき, 合同で海岸清掃を行った。今後も, 計画的に活動を継続していく。 ・ 今後も町役場による回収の協力を呼びかけていく。
③ 児童・生徒の活動に 対する地域住民の 反応	<p>令和4年度は, 長浜海岸に来た校区内外の方や写真で活動を見た保護者から, 海岸の実態を憂慮する発言が複数あった。また, サーファーや海に遊びに来た方が, 児童の描いた保護ポスターを見ていることがあり微力ながらも啓発活動の一助となっている。児童の作文を読んだ保護者からも共感の声が上がっている。</p> <p>今年度は, 第77回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」野生生物保護功労者「環境省自然環境局長賞」を受賞することができた。これまでのウミガメに関する取組, 関係機関との連携, 時代に応じた様々な取組が評価されたこと, 学校と地域が一体となって取り組む今後の活動の支えとなったこととして, 新たな第一歩となった。</p>

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	<p>本校は、「身の回りの環境に関心を持ち、環境を大切にするために行動できる子供の育成をめざす」ことを環境教育の目標に挙げており「SDGs デー」は環境教育の一環である。</p> <p>毎回の活動後は、日記や作文にまとめて振り返り、掲示をしている。1学期末には、全児童合同で、活動で分かったことや感じたことを振り返り、ロイロノート（ICT 活用）を使って発表し合う活動を行った。他校との交流学习では、SDGs デーやウミガメ学習についてロイロノートで発表する計画もある。</p>
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	<p>活動の結果、児童が長浜海岸のゴミの多さや環境の悪化を実感することができた。</p> <p>作文や日記には、具体的にどんなものがあつたか（自然物か人工物か）、どの国や地域からのゴミなのか、より具体的で実感の伴う文章や記述が増えてきた。ゴミと海流の関係を調べ、どこから漂流して来たゴミであるかレポートを書いた児童もいる。全児童が砂浜の環境保全のための清掃活動の必要性を実感している。</p> <p>また、全児童がウミガメの上陸跡を観察し、ウミガメの上陸にゴミが障害物となっている現状を知ることができた。また、生まれた子ガメが海に帰るルートに障害物が多くあることも理解することができた。</p> <p>さらにウミガメだけではなく、砂浜の植物や貝やカニなどの生き物の生態や食物連鎖、潮の満ち引き、海岸の異臭なども実際に経験し、「うみがめ留学生」や地元の子供たちの幅広い学びの場となっている。</p>
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会ボランティア活動の推進（朝のゴミ拾い） ・ 木曜日始業前の朝の児童緑化活動 ・ 牛乳パックのリサイクル
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか	無
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度末の教育課程編成時に検討し、時数と日程を確保している。 ・ 時数は、生活科（1・2年）と総合的な学習（3～6年）で算定している。
3 その他特記事項	特になし

参考写真

1 海岸清掃の様子



2 設置された看板と漂着したごみ



3 第77回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」野生生物保護功労者「環境省自然環境局長賞」

